

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用

中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel:043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax:043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

管内で牛サルモネラ症が発生

＜発生状況＞

4月中旬に成牛1頭が発熱、食欲不振、水様性下痢を呈し、検査を実施したところ、当該牛の糞便からサルモネラ・ティフィムリウム（届出伝染病の原因菌）を分離。当該牛は隔離し、抗生物質による治療を実施。同居牛にはサルモネラワクチンを接種。併せて、畜舎及び畜舎周辺の消毒を実施。

※他家保管内でも4月にサルモネラ症の発生がありました。

サルモネラ症の症状

●子牛●

- 元気消失 ○食欲不振～廃絶 ○発熱（40～42℃）
- 下痢（悪臭がある。泥状～水様便。悪化すると血便。）

- * 症状なく突然死することがある。
- * 肺炎や関節の腫れが見られることがある。

1カ月齢以下の幼弱牛がもっとも感染しやすく、症状も激しく、死亡率も高い。

●成牛●

- 元気消失、食欲不振
- 発熱
- 下痢
（悪臭がある。泥状～水様便。
悪化すると血便となり、時に
偽膜が混じる。）
- 乳量減少
- 死産を起こす場合もある。（サルモネラ・ダブリン等）



血便
（偽膜が混入）



泥状便



水様便

* 写真は平成21年度の他家保管内発生例。

分娩後がもっとも発症しやすい。症状が悪化すると死亡することがある。

～おかしいと感じたら、すぐ獣医師や家畜保健衛生所に連絡を！！～

千葉県中央家畜保健衛生所

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090

サルモネラ症の予防対策

～サルモネラの外部からの侵入を防ぐ～

サルモネラ症が発生すると、農場内を清浄化させるまでに長ければ数カ月を要し、大変な手間と経済的損害をこうむります。

発生してから抑え込むより、飼養衛生管理基準を遵守し、侵入を防止することがもっとも効果的です。

- 農場に出入りするとき**車両・靴底の消毒**を行う。
- 牛舎の入口に**消毒槽**を設置し、牛舎に出入りする際に**長靴を消毒**する。また消毒の前に長靴は綺麗に洗淨する。



車両・靴底、消毒していますか？



踏込み消毒槽は必ず設置！
石灰・石灰乳が効果的



消毒は長靴をきれいにしてから！*特に靴の裏

- 牛舎専用の**長靴・作業着**を用意し、日常使う服や靴で牛舎内に入らない。
- サルモネラは牛の口から感染するため、汚れたままの長靴で餌やりをしない。
- 牛舎内の床、飼槽、水槽やカーフハッチ等の**定期的な清掃と消毒**をし、万一の発生時にも拡大を防ぐ。
- ネズミや野鳥などの野生生物もサルモネラの感染源**となるため、野生生物が牛舎内に入り込まないようにする。
- 新たに導入する牛は3週間ほど隔離して飼育し、健康に異常がないことを確認する。
- サルモネラは人へも感染するので、牛舎内作業をした後は**手指をよく洗う。**

☆定期報告書をまだ提出していない方へ☆

定期報告書の3枚(基本情報、家畜の種類及び頭羽数、飼養衛生管理基準の遵守状況)は必ず記入・提出願います。

添付書類(農場平面図、立入制限・消毒設備、埋却地等)については、変更がない場合は、定期報告書右上の“添付書類記載事項の変更”のなしに○を付け提出は不要です。変更がある場合は、加筆し定期報告書と一緒に提出願います。

※提出期限:家きん以外 4月15日、家きん 6月15日